

## ディボーション質問表



今週の箇所は、「エレミヤの後半生の事件」(26~45章)の最後と諸外国への託宣(46~51章)の部分です。

### 14日(月) エレミヤ書 45: 1~5 バルクの嘆き

1. バルクはどういう心の持ち主でしたか? この時の彼の気持を神様はどのように表現していますか?
2. バルクに対して神様の語ったことば(5節)からあなたはどんな慰めと警告を見いだしますか?

### 15日(火) エレミヤ書 46: 1~12 エジプトの敗退

1. 1節は、46~51章全体の表題になっています。2~12節で神様がエジプトに対して警告している事は、どのような内容でしょうか?
2. 10~12節では、エジプト軍の敗北が神様の審判であることが強調されています。そのような視点で読み返してみましょう。

### 16日(水) エレミヤ書 46: 13~28 エジプトへの裁き

1. エジプトに対して神様の裁きが告げられます。しかし、その中でもわずかながら希望が見いだされます。どんな希望がありますか?
2. 結局、人にとって国家とはどんなものだと思いますか? あなたは国家をどのようにとらえていますか? 必要以上に大きくとらえたり、軽視したりしているところはありませんか?

### 17日(木) エレミヤ書 47: 1~7 ペリシテ

1. 「北からの水」、「つるぎ」がカナン地方を席卷します。バビロン帝国による支配が進んでいきます。なぜ神様はバビロンにこのような役割を課したと思いますか?
2. ペリシテ人は常にイスラエルに敵対した偶像国家でしたが、バビロンはそれとは少し性質が異なるようです。単なる侵略国家とバビロン帝国の違いは何だだと思いますか? 人間にも似たような違いがあると思いますがどうでしょうか?

### 18日(金) エレミヤ書 48: 1~25 モアブ1

1. エレミヤはエジプト、ペリシテ人に続き死海の東海岸に住むモアブ人について48章では預言しています。1~10節では、モアブへの裁きが語られています。どのような内容でしょうか? まとめてみましょう。
2. 11~25節では、今までは外敵から攻め込まれることはなかった彼らを、神様はさばかれる事が言われています。その内容をまとめてみましょう。

### 19日(土) エレミヤ書 48: 26~47 モアブ2

1. モアブへの神様の裁きが記されていますが、モアブからはルツが出ています。この国に対する神様の裁きは他の異邦人とは少し異なるようです。神様はモアブをどのように見ておられますか?
2. モアブの罪の中では、何が特徴づけられていますか? またこのモアブは決して見捨てられていません。あなたはどのように神様に頼みますか?

**\*今週の箇所から3日以内に始められ、具体的、実現可能で計測することができる計画を聞いてみましょう。**